

第3学年 国語科学習指導案

日時 令和元年6月10日（月）第5校時
場所 3年2組教室
授業者

- 1 単元名 読んで、かんじたことを発表しよう
- 2 教材名 「もうすぐ雨に」 朽木 祥 作
- 3 指導の立場

(1) 教材について

本単元では、次の指導事項について指導する。

読むこと (1) イ

- ・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。

読むこと (1) エ

- ・登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像すること。

読むこと (1)

- ・文章を読んで感じたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。

本単元「読んで、かんじたことを発表しよう」は、文学的文章を、場面の移り変わりに注意しながら登場人物の行動や気持ちについて叙述をもとに想像して読み、文章を読んで感じたことを発表し合って一人一人の感じ方について違いのあることに気付くことをねらいとしている。

本教材は、動物の声が聞こえるようになるという不思議な出来事が起こったことにより、主人公の「ぼく」が動物の思いを想像したり、動物の世界に理解を示したりできるようになる物語である。不思議な出来事にわくわくしたり、自分に同じような不思議な出来事が起こったらどうするか想像を膨らませたりしながら読み進めることができるだろう。読後の「おもしろい」「すきだ」という思いを、なぜそう思ったのか本文を根拠にして仲間に発表することで、叙述をもとに登場人物の行動や気持ちについて読み取る力を付けさせたい。また、仲間の考えを自分の考えと比べながら聞く活動を通して、それぞれ考え方には違いがあることに気付かせたい。

第二次では、教科書の主人公の気持ちが分かる行動や会話を探し、そこから考えた気持ちを書くように指導する。必ず、どの言葉から考えたのかを明らかにさせることで、叙述を基にして豊かに想像し、気持ちを読み取る力を付けていきたい。さらに、前の場面の気持ちと比べながら読み取りを行うことで、場面の移り変わりと共に主人公が変化していることに気付かせたい。そのために、物語を、「不思議な出来事に出会い、驚きや戸惑いを見せる」起 (①)・承 (②③)、「「じっけん」を繰り返し、積極的に不思議な出来事を確かめようとする」承 (④⑤⑥)、「声ではなく、遠くから聞こえる歌声から様子を思い浮かべられるようになる」転 (⑦)と「声は聞こえなくなったが気持ちが想像できるようになった」結 (⑧⑨)の三つに分け、読み取りを進める。また、毎時間の終末には、読み取りをもとにして、「おもしろい」「すきだ」と感じたことを、理由とともにまとめる活動を位置づける。三次へのつながりをもたせるために、「物語から感じたことを仲間と伝え合う」という単元の課題意識をもたせ、毎時間の感じ方を残す。

単元の出口である第三次では、物語を読んで「おもしろい」「すきだ」と思ったところを根拠となる叙述を挙げて書きまとめるように指導する。仲間と物語から感じたことを伝え合い、自分の感じ方との違いに気付く中で、多様な楽しみ方を知ったり、自分の考えを広げたりできるようにしたい。

(2) 児童の実態

4 研究内容との関わり

<テーマ>生きてはたらく言語能力を高める国語科学習
—楽しくて、力が付く言語活動の工夫—

(1) 言語活動を通して、力を付けるための単元構成の工夫

「課題意識の連続性を大切にした言語活動の位置付け」は、毎時間の終末に「感じたことをまとめる」活動を位置づける。二次でも、出口の「物語から感じたことを仲間と伝え合う」活動を行うという課題意識をもつことで、「どんなところが面白いと思ったか」を考えながら読み取りを進められるようにしたい。また、毎時間の感じ方を残すことによって、三次で行う、物語から感じたことをまとめる活動の際に、毎時間のまとめを手がかりとして、考えをもつことができると思う。

(2) 力を付けるための単位時間の学習過程の位置付け

「実態に応じた、有効な交流の位置付け」は、深めの発問の後にペア交流を行い、意見がもてるようにする。仲間と交流することで、自信をもって発表したり、励まして仲間の発表を促したりして、学習意欲を盛り上げていく。また、本時考えていきたい叙述を3つに絞ることによって、同じ言葉から自分が読み取った気持ちと仲間が読み取った気持ちを聞き比べながら、賛成意見や付けたし意見として広げていけるようにする。

(3) 自己の高まりを自覚できたり、自信を付けたりする終末の工夫

二次の単位時間ごとに感想を積み上げていくことで、自信をもって3次の活動の中で自分の感じたことを文章にまとめることができると思う。感想は、「わたしは、～～がすき／おもしろいです。わけは、～～だからです。」の書き出しを与えて、その時間一番感じたことを理由とともに書けるようにする。また、広がった考えを表現できた児童を紹介し、自分の表現に自信をもたせたり、見本を見せたりする工夫をした。

5 単元の目標

- ・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。
- ・登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像できる。
- ・文章を読んで感じたことを仲間と伝え合い、一人一人の感じ方の違いに気付くことができる。

6 単元指導計画（全9時間）

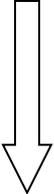
〈単元を貫く課題〉

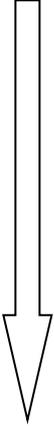
登場人物の行動や気持ちに気を付けて読み、感じたことを発表しよう。

〈単元を貫く言語活動〉

物語から感じたことを、仲間と伝え合う。

次	時	ねらい	学習活動	評価規準	
一 次	1	「もうすぐ雨に」を読み、大体の内容を捉えて感想をもつとともに、単元を貫く課題や言語活動から学習計画を立て、学習のめあてをもつことができる。	1 題名から、物語の内容を想像する。 2 本時の課題を確認する。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">物語を読んで、はじめのかんそうを書こう。</div> 3 教師による範読を聞き、あらすじをつかむ。 4 初発の感想を書き、感想を交流する。 5 不明な語句の意味調べをする。 6 単元を貫く課題や言語活動から学習計画を立て、学習の見通しをもつ。 ○不思議な出来事に注目して読んでいき、感じたことをまとめに書く、感じたことを仲間と伝え合うなどの学習の流れをつかむ。	大体の内容を捉えて感想をもつとともに、学習の見通しとめあてをもち、学習の出口を意識して、読み進めようとしている。 【関・意・態】	物語に関心をもち、出口の活動への意欲をもつ

二 次	2	出来事に気を付けて四つの場面に分けることを通して、出来事や主人公の気持ちの変化していることに気づき、起承転結の組み立てを理解することができる。	1 本時の見通しをもつ。 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">出来事に気を付けて四つの場面に分けてよう。</div> 3 教科書 p.80～81 や例文をもとに物語の組み立てについて学ぶ。 ○起承転結の組み立てがあることをつかむ。 4 音読する。 5 出来事に注目して四つの場面に分ける。 ○出来事や主人公の気持ちの変化していることに気付かせたい。	出来事に注目し、場面を四つの組み立てに分けている。 【知・技(1)ク】	出来事や主人公の気持ちの変化に気付く。 
	3 4	一から三場面の主人公の行動や会話から気持ちを考えることを通して、不思議な出来事に出会ったぼくが驚きつつも、信じ始めている気持ちに気づき、読んで感じたことをまとめることができる。	1 本時の見通しをもつ。 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">トラノスケたちの声を聞いた、ぼくの気持ちを読み取ろう。</div> 3 一から三場面を音読する。 4 主人公の行動や会話から、気持ちを考える。 5 全体交流で、不思議な出来事に出会った「主人公の気持ちを話し合う。 6 ペア交流する。 7 読んで感じたことについて、理由を明らかにしてまとめに書く。 ○「おもしろい」「すきだ」と思ったところや理由をまとめる。	不思議な出来事に出会った主人公の気持ち分かる叙述に線を引き、気持ちを読み取っている。 【読(1)イ】	主人公の行動や会話から気持ちを読み取り、感じたことをまとめる。 
	5	四から六場面の主人公の行動や会話から気持ちを考えることを通して、「じっけん」で自分から不思議を確かめ、動物に親しみを感じて受け入れたる気持ちに変化していることに気づき、読んで感じたことをまとめることができる。	1 前時の振り返りをする。 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">かめたちの声を聞いた、ぼくの気持ちを読み取ろう。</div> 3 四から六場面を音読する。 4 主人公の行動や会話から、気持ちを考える。 5 全体交流で、ぼくの変化を話し合う。 6 ペア交流する。 7 読んで感じたことについて、理由を明らかにしてまとめに書く。	不思議な出来事を確かめようとした、主人公の気持ちの変化を読み取っている。 【読(1)イ】	
	6 本 時	七から九場面の主人公の行動や会話から気持ちを考えることを通して、不思議な出来事が起こる前と違い、声は聞こえなくても動物の気持ちを想像できるようになっていることに気づき、読んで感じたことを	1 前時までを振り返り、本時の見通しをもつ。 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">動物の音が聞こえなくなった、ぼくの気持ちを読み取ろう。</div> 3 七から九場面を音読する。 4 主人公の行動や会話から、気持ちを考える。 5 全体交流で、ぼくの変化を話し合う。 6 ペア交流する。	不思議な出来事が起こる前と後の主人公の変化を読み取っている。 【読(1)イ】	

		まとめることができる。	7 読んで感じたことについて、理由を明らかにしてまとめに書く。		
三 次	7	物語を読んで感じたことを理由と共にまとめ、それを仲間と交流する活動を通して、なぜ「おもしろい」「すきだ」と感じたのか物語の叙述から考え直し、それぞれの感じ方や考え方の違いに気付くことができる。	1 前時までを振り返り、本時の見通しをもつ。 2 本時の学習課題を確認する。 物語を読んで感じたことを発表しよう。 3 学習をふり振り返り、一番「おもしろい」「すきだな」と感じたことを選ぶ。 4 どうしてそう感じたのか理由を書く。 5 感じたことを仲間と交流する。 ○共通点や相違点に気を付けて聞く。 6 交流して考えたことをまとめる。	物語から感じたことを仲間と交流し、それぞれの感じ方の違いに気付いている。 【読（1）オ・カ 書（1）ウ】	物語から感じたことを仲間と交流し、それぞれの感じ方の違いに気付く。
	8 9	選んだ物語を読んで感じたことを理由と共にまとめ、それを仲間と交流する活動を通して、それぞれの感じ方や考え方のよさに気付き、他の仲間にも物語の面白さが伝わるように紹介文としてまとめることができる。	1 前時までを振り返り、本時の見通しをもつ。 2 本時の学習課題を確認する。 えらんだ物語をなかまにしようかいしよう。 3 選んだ物語を読んで感じたことをまとめる。 4 同じ物語を選んだ人同士でグループを作る。(2～3人) 5 グループで感じたことを話し合う。 ○共通点や相違点に気を付けて聞く。 6 交流して考えたことをしようかい文にまとめる。	物語を読んで感じたことを仲間と交流し、面白さが伝わるように紹介文にまとめている。 【読（1）オ・カ 書（1）ウ】	

7 本時のねらい

七から九場面の主人公の行動や会話から気持ちを考えることを通して、不思議な出来事が起こる前と違い、声は聞こえなくても動物の気持ちを想像できるようになっていることに気付き、読んで感じたことを理由と共にまとめることができる。

8 本時の展開 (6/9)

	学 習 活 動	○指導・援助 ◆評価
つかむ	<p>1 前時までをふり返り、本時の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「じっけん」で自分から不思議を確かめるようになった。 ・最初は不思議な出来事に驚いていたけれど、今は動物の言葉を信じている。 ・人間と動物の違いを気にしている。 <p>○今日は不思議な出来事が終わり、動物の声が聞こえなくなった場面を読んで、今までのぼくと比べて、ぼくの気持ちがどう変わったのかを考えていこう。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">動物の声が聞こえなくなった、ぼくの気持ちを読み取ろう。</div>	<p>○主人公の気持ちを比べて読み取れるよう、前時の足跡を掲示する。 視覚化</p> <p>○考えさせたい叙述を3つに絞り、気持ちを考える。 焦点化</p>
考える	<p>3 七から九場面を音読し、主人公の行動や会話から、気持ちを一人読みで考える。</p> <p>○一番考えたい言葉を見つけて交流し、本時考える言葉を確認する。</p> <p>4 全体でぼくの気持ちを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「びよんびよんはねている小さなかえるたちを、～心に思いうかべた」 →あの時助けたかえるが仲間の所へもどったのかな。 きつと雨がうれしいだろうな。なかまといっしょに喜んでるかな。 ・「ご用は、全部すんだか。」 →最初は遊びに行く決めていたけれど、今はトラノスケにも用があるのだと分かっているよ。 ・「トラノスケをゴシゴシふいてやった。」 →きつと雨にぬれていやだろうな。ふいてあげよう。 ・「トラノスケがなんて言いたいのか、ぼくには、ようく、分かったよ」 →言葉が聞こえなくても、トラノスケの言いたいことは分かるよ。 トラノスケにはトラノスケの世界があるって、もう知っているからね。 	<p>○どの叙述から考えたのかを明確にするため、プリントに叙述を書き、その下に考えた気持ちを書く。 視覚化</p> <p>○発表のときはどの言葉から考えたのか明らかにさせる。 共有化</p>
深める	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">ぼくは、どのように変わったのだろう。</div> <p>5 ペアで主人公の変化を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初は動物の行動や気持ちを勝手に決めていたけれど、動物たちの気持ちが考えられるようになった。 ・気持ちが想像できるようになったから、今までよりもっと動物と仲良くなれたと感じている。 ・はじめはトラノスケのことを遊びに行く決めていたけれど、トラノスケにもトラノスケの世界があるのだと考えられるようになった。 	<p>○ペアで交流する時間を設定し、考えがもてるようにする。 共有化</p> <p>○深めの発問で、ぼくの動物の見方への変化に気付かせる。 焦点化</p>
まとめる	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">はじめは動物のことを決めて考えていたけれど、今は動物の気持ちになって考えられるようになった。</div> <p>6 本時の学習で感じたことを理由と共にまとめる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">わたしは、ぼくが動物の声が聞こえなくなったのに、トラノスケがなんて言いたいのか「ようく、分かったよ」と言うところがすきです。ぼくが、気持ちを想像できるようになって、トラノスケともっと仲良くなったことがよく分かるからです。</div>	<p>○読んで感じたことを、理由を明らかにしてまとめさせる。</p> <p>◆評価規準 不思議な出来事が起こる前と後の主人公の変化を読み取っている。 【読(1)イ】</p>